

■船橋市アンデルセン公園指定管理者内部評価 評価結果シート

施設名	船橋市アンデルセン公園
指定管理者	公益財団法人 船橋市公園協会
評価対象年度	令和5年4月1日～令和6年3月31日
所管課	都市整備部 公園緑地課

総合評価	評価の理由
S	<p>事業計画に基づく評価表の評価項目中、S評価35項目、A評価21項目となり事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合以上であるためS評価とした。</p> <p>アンデルセン公園のコンセプトや有料公園としての位置付けを理解した管理運営を行っている。</p> <p>特に、令和5年で15回目を迎える切り紙コンクールや作品展示、デンマークグッズの販売やクリスマスリースづくりのワークショップの開催などを行い、デンマーク文化を広く発信するなど国際交流に大きく貢献している。また、子どもたちが自由な発想で創作する楽しさを体験できるアトリエプログラムの開催や四季折々の花々で花と緑にあふれた憩いの場を提供するなど、特色ある取組を行っている。これら事業は、長年の実績による知識や技術を継承し、職員を継続して育成していることで実施できているものと考えられる。</p> <p>さらに、公式インスタグラムによる幅広い広報活動の実施や、男性も利用できるよう授乳室の改修を行うなど、業務改善にも積極的に取り組んでいる。その結果、アンケートによる利用者満足度においても高評価を得て、再来園にもつながっており、身近な憩いのある空間として広く認知され、船橋市の代表的な都市施設としての役割を高めている。</p>

※総合評価は「施設所管課による評価」だけを対象に評価する

※総合評価で評価項目が混在する場合の基準は下記「総合評価の基準」を適用します

総合評価の基準	
S	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合以上である
A	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合未満である 事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合以上である
B	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合より少ない 事業計画に基づく評価表の評価項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合以上である

C	事業計画に基づく評価表の評価項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合より少ない
D	上記に関わらず、事業計画に基づく評価表の評価項目内に一つでもDがある場合

項目別評価状況	
S	事業計画以上の優れた管理運営がなされている
A	概ね事業計画どおりに管理運営がなされている
B	概ね事業計画どおりに管理運営がなされているが、一部軽易な改善事項あり
C	事業計画どおりの管理運営がなされておらず、早急な改善を要する
D	指定の取消しをせざるを得ないような不適切な管理運営がなされている

品質管理把握状況

各種報告書の提出状況の確認	基本協定書に定める期日内にて確認
現地把握調査	時機に応じて実施
意見交換会の実施	毎月第3木曜日に実施
利用者アンケート	通年実施
事業報告書提出日	令和6年5月30日
ヒアリング実施日	毎月第3木曜日に実施

指定管理者による自己評価	記入日	令和6年5月30日
公園緑地課による評価	評価日	令和6年7月18日

<項目別評価表>

評価項目	指定管理者による 自己評価	施設所管課による 評価	施設所管課による評価の理由
中項目 1.適切な管理運営			
小項目 1.基本方針の理解			
(1)施設の設置目的を十分に理解し、 管理運営の基本方針等を明文化した 上で、管理運営を行っている。	S	S	公園利用パンフレットやホームページにて船橋市アンデルセン公園の管理の基本方針や歴史や特色等を記載している。また、指定管理者の経営理念に基づき、緑化拠点施設として緑豊かな景観の保全に努めるとともに、アンデルセン公園の特色を活かした管理運営を行っている。
(2)設置目的や管理運営の基本方針を 全職員に周知し、実行させている。	S	S	指定管理者の経営理念の唱和を毎週日曜日の朝礼時に実施し、職員への周知を行っている。スタッフの対応の良さは利用者アンケートからも見て取れ、利用者に「何度でも訪れたい」と思ってもらえる魅力ある公園づくりに活かされている。
(3)設置目的や管理運営の基本方針を 利用者にも周知している。	S	S	公園利用パンフレットやホームページにて船橋市アンデルセン公園の管理の基本方針や歴史や特色等を記載している。船橋市アンデルセン公園最大の特徴ともいえる6つの各ゾーンの特色を最大限活かし、利用者にそれぞれの目的に合わせて楽しんでもらうため、各ゾーンに方針を定め、利用者に周知しながら管理運営を行っている。
(4)緑化の拠点施設としての活用が図 られている。	S	S	緑化拠点施設として緑豊かな景観の保全に努めるとともに、1年を通して緑化推進事業等を行い、啓発を行っている。
(5)誰もが安全に安心して利用できる維 持管理が行われている。	S	S	開園前の遊具点検を実施し、不良箇所があった場合、緊急性のあるものや、軽易なものは市と協議の上、指定管理者で修繕対応している。また、快適に施設を利用いただけるようベンチ、置型プランター、自動販売機等の拭き掃除の実施や利用者が使用する入園券売機や駐車場精算機等の点検を行っている。
小項目 2.連絡体制			

評価項目	指定管理者による 自己評価	施設所管課による 評価	施設所管課による評価の理由
(1)管理運営に際し、責任者や各職員 の業務分担が明確になっており、指揮 命令系統が確立されている。	S	S	管理運営に係る各業務を以下のとおり、担当課に割り当て、日々の朝礼にて業務指示の伝達を行っている。作業日報や口頭報告により業務の進捗状況の確認を行い、問題点や改善点がある場合には、指示を徹底し円滑に業務を遂行している。 ・各種利用料金等の徴収に関する業務、売店、遊戯事業の管理運営に関すること（管理課） ・園の管理運営に関すること、施設の維持管理、イベント運営、緑化管理、植栽等、取材等に関する こと（運営課） ・子ども美術館の運営に関すること（子ども美術館）
(2)第三者に対して業務の一部を委託 する場合、市の承諾を得ている。	A	A	管理業務に係る第三者委託について、令和5年3月31日付にて市の承認を得ている。
(3)些細な報告であっても、常に市と連 絡が取れる体制ができています。	S	S	管理状況報告書や毎月の定例会議での報告に加え、緊急事態等が発生した場合は、適宜報告を受けている。 また、修繕等を行う場合は、工事事前連絡書兼申請書にて報告し、承認を得てから実施している。
小項目 3.危機管理等			
(1)定期的な巡回等により、未然に事故 や犯罪を防ぐ体制が整っている。	S	S	事業計画書のとおり、職員による園内巡回、監視カメラによる監視、警備員による迷子捜索や園内監視を実施している。
(2)各種鍵は金庫等のしかるべき場所 に保管している。	A	A	各種鍵はゾーン毎に束ね、保管場所を決めて施錠された保管庫に保管している。
(3)金銭を取り扱う職員が明確化されて いる。	A	A	金銭を取り扱う者は管理課職員とし、金庫の鍵の保管についても取扱者を決めている。
(4)レジ・券売機及び利用件数の確認 を毎日行っている。	A	A	レジ・券売機及び利用件数の確認を毎日行っており、売上分析及び日計表の作成を行っている。

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
(5)事故防止等の対応策を立て、実行している。	S	S	施設点検班によるアスレチック点検、施設関係法令に基づく点検や食中毒・異物混入防止のため、売店検査を月に1回実施している。利用者が利用する施設や機器等の不良箇所等は、防護柵等の安全対策を行い使用禁止等の表示を行っている。落雷事故防止のため雷情報サービスの活用やスズメバチによる事故防止のためスズメバチ駆除対策業務委託を締結している。
(6)事故発生時の対応方法及び連絡体制が明確にされている。	S	S	事故発生時の対応マニュアルを作成し、体制を整えている。園内に看護師を常駐させ、怪我発生時には、応急手当を実施し、必要に応じて病院の手配、救急車の要請などを行っている。
(7)非常時を想定した訓練等を防災マニュアル等を用いて定期的実施している。	A	A	災害対応マニュアル、防犯マニュアルは小冊子にして各人に配布し、不測の事態に備えている。また、防災訓練を2回、防犯訓練を1回実施した。
(8)安全管理体制が整い、利用者が安全安心して利用できる施設の運営を行っている。	S	S	施設ごとに定められた法令・自主点検や清掃のほか、施設の利用頻度などの利用状況や天候などによる施設への影響を考慮した巡回点検を実施し、利用者が安心して利用できる施設運営を行っている。また、雷情報提供サービスの活用、スズメバチ駆除対策業務委託契約の締結を行っている。
(9)個人情報の漏えい、き損、滅失及び改ざんの防止、その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じている。	A	A	個人情報保護規程に基づき適切な管理を行っている。
(10)個人情報の適正な取り扱いについて、職員に対する研修等を実施している。	A	A	定期的に外部講師を招き、個人情報保護研修を実施している。 臨時職員等に対し、個人情報保護に関する確認の読み合わせ等の啓発研修を実施している。

評価項目	指定管理者による 自己評価	施設所管課による 評価	施設所管課による評価の理由
(11)個人情報の収集については、取り扱う目的を明確にし、必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行っている。	A	A	市へ個人情報取扱い管理者及び個人情報保護に関する体制の報告を行っており、同報告書に基づき適切に事務を行っている。
小項目 4.設備について			
(1)設備の点検・保守管理体制が確立されている。	A	A	施設ごとに定められた法令・自主点検や清掃のほか、施設の利用頻度など利用状況や天候などによる施設への影響を考慮した巡回点検を実施している。また、公園施設製品安全管理士による点検を年2回実施している。
(2)備品等の機器に異常が生じた場合は、速やかに市に報告している。	S	S	利用者が利用する施設や機器等に不良箇所等が発生した場合は、防護柵等の安全対策及び使用禁止等の表示を行い、修繕等が必要と判断した場合は、速やかに市へ報告し、修繕等を行っている。
(3)清掃が確実に行われており、常に清潔な状態を保っている。	S	S	利用者が快適に休息できるよう、利用状況に合わせた清掃を行っている。利用頻度の高い設備や園路、ベンチテーブルは、毎朝、点検・清掃を実施している。 また、トイレについては、通常清掃と併せて、アルコール消毒を行っている。
(4)修繕が必要なものについては、利用者の安全を確保し、速やかに対応している。	S	S	利用者が利用する施設や機器等に不良箇所等が発生した場合は、利用者の安全確保を最優先とし、護柵等の安全対策や使用禁止等の表示を行い、速やかに市へ報告し、修繕等を行っている。
小項目 5.施設周辺住民との調和			
(1)管理運営に際し、施設周辺住民が不快となる事態が起こらないよう努めている。	S	S	周辺住民の迷惑にならないよう、緊急時以外の園内放送は実施していない。周辺道路に渋滞が起きないように、混雑時には園外の主要箇所にも案内者を配置し、円滑な駐車場誘導を実施している。また、混雑が予想される日の関係者駐車場は、近隣学校施設等の敷地を駐車場として借り上げている。

評価項目	指定管理者による 自己評価	施設所管課による 評価	施設所管課による評価の理由
(2)積極的に周辺地域と関わり、地域との共生を図った管理運営を行っている。	S	S	市民大学の生涯学習事業の受け入れ及びパークライブステージ参加者の受け入れを行った。 12月には近隣の豊富小学校、豊富中学校のマラソン大会コースとして園内を開放した。 船橋市北部公民館で行われた新型コロナウイルスワクチン集団接種に係る接種者の駐車場として9月から11月まで東駐車場を開放した。 3月には豊富小学校、豊富中学校の卒業式に参加した。
(3)利用者による交通渋滞について、交通誘導員を配置するなど、周辺住民への配慮がなされている。	S	S	混雑の予想される日は交通誘導員を増員し、周辺道路の混雑緩和を考慮した駐車場入場待ち車両の交通誘導等を実施している。また、ホームページにて駐車場の混雑状況をリアルタイムで発信し、混雑緩和に努めている。
(4)周辺地域へ具体的な還元が行われ、良好な関係を築けるよう努めている。	S	S	「さくらまつり」の時期に周辺地域へ招待券の配布、公園区域外の緑地帯の清掃管理、地域環境整備などを実施している。船橋市北部公民館で行われた新型コロナウイルスワクチン集団接種に係る接種者の駐車場として昨年度と同様に東駐車場を開放した。
中項目 2.コスト意識と経費削減			
小項目 1.光熱水費等			
(1)使用していない部屋の消灯、水道の蛇口のコまめな閉口等、光熱水費等が過剰にならないよう努めている。	S	S	使用していない部屋の消灯等を積極的に実施している。扇風機やサーキュレーター等を使用してエアコンの冷房効率を高めるなど光熱水費等のコスト削減に努めている。
小項目 2.備品の管理			
(1)備品の管理を備品台帳等を用いて適正に行われている。	A	A	備品には備品シールを貼り、備品台帳を用いて適正に管理している。
(2)備品の使用に際しては、安全等を確認し、使用方法を遵守した上で物品の提供を行っている。	S	S	利用者が使用する備品は、開園前に試運転による安全性等の確認を行い、使用後は清掃等の手入れを行っている。大型機器（駐車場精算機、入園券売機）は職員による日々の点検及び保守業者による定期点検・清掃を行っている。

評価項目	指定管理者による 自己評価	施設所管課による 評価	施設所管課による評価の理由
(3)修繕が必要な市が提供する備品については、市へ速やかに報告し、その都度必要な対応を行っている。	S	S	経年劣化等で故障した備品については、速やかに報告し、その都度修繕などの必要な対応を行っている。
小項目 3.経済的な仕入れ先の検討			
(1)経費削減のため、常に最少の経費で最大な効果を発揮できるような商品を仕入れるよう努めている。	A	A	売店仕入れについては、売り上げの予測を立て、雑損失を出さないよう必要最小限に留めるよう努めている。また、土産品等は委託販売方式を採用し、売れた分のみの仕入れとしている
小項目 4.不採算事業の見直し等			
(1)不採算事業については、一部の利用者ニーズを満たすものになっていないか等を検討している。	S	S	各種イベントを実施後、自己評価シートを作成し、実施内容について検証を行い、次回開催の参考とし、誰もが楽しめる催しとなるよう努め、多くのリピーターに繋げている。 また、子ども美術館アンケートでは、アトリエ出入口にて施設利用に係るアンケート調査を実施しているが、満足度が高く、幅広い様々なニーズに対応したイベントを実施している。
小項目 5.業務改善			
(1)業務改善による経費の削減に努めている。	S	S	企業花壇を誘致し、36社から企業協賛を得ている。軽易な修繕については、職員にて実施し、経費の削減に努めている。
小項目 6.従事者に対する労働条件等			

評価項目	指定管理者による 自己評価	施設所管課による 評価	施設所管課による評価の理由
(1)閑散期・繁忙期等に合わせた柔軟な人員配置を行うことで、人件費が過大とならないよう努めている。	S	S	繁忙期は雇用者を登録制とし、天候等により出勤の有無を決定するなど計画的な人員配置を行い、経費削減に努めている。
(2)福利厚生について適正に配慮されている。	A	A	各種予防接種（破傷風、インフルエンザ）や健康診断の実施、被服の貸与等、労働安全衛生法に基づき実施している。樹木管理職員に対してはハチ抗体検査を行い、結果によりエピペンを所持させている。
(3)従事者に対する労働条件は適正であり、雇用に関しての基準や体制が確立している。	A	A	雇用に係る基準を定めており、臨時職員等の採用にあたっては雇用条件の説明を行っている。
中項目 3.集客力の向上			
小項目 1.魅力ある事業展開			
(1)自主事業については、施設の設置目的を十分に理解したものであり、新しいものを取り入れながら提案している。	S	S	珍しい植物の展示販売や自然観察会等を実施し、緑化推進の啓発を行っている。 売店事業では、季節にあったイベントを展開し、季節のメニューを取り入れるなどの利用者サービスを展開している。
(2)他市の類似施設等の研究を行う等、集客を向上させるための努力も行っている。	A	A	常に情報収集を行い、時代のトレンドを取り入れながら、船橋市アンデルセン公園のイメージに合った運営を行っている。
(3)利用者アンケートを行い、集客力の向上や利用者サービス等に繋がるよう活用している。	S	S	利用者アンケートを年2回実施している。入園ゲート及び子ども美術館での利用者の声、ホームページからの意見・要望を受けられる体制をつくっており、利用者ニーズの把握に努めている。 また、利用者の声ひとつひとつに真摯に対応し、対応結果について定期的に報告を受けている。

評価項目	指定管理者による自己評価	施設所管課による評価	施設所管課による評価の理由
(4)施設を利用したことがない人達にも関心を持ってもらえるような事業を企画又は実施している。	A	A	ホームページに施設紹介の動画や目的別の利用案内等を掲載するとともに、TV等のメディアに対し、ロケや施設紹介企画を積極的に受け入れる協力体制をとっており、幅広い年代の方に関心をもってもらえるようPRに努め集客につなげている。
(5)施設や事業に関心を持ってもらうため、積極的かつ効果的な広報活動を行っている。	S	S	ホームページで園内の花のみどころ情報及び園内や駐車場の混雑状況をリアルタイムで発信した。また、インバウンド利用者対応のため、二次元コードによる多言語標記の施設紹介看板を設置している。新たにInstagramを開設し、園内情報の発信を行った。 子ども美術館の独自の企画や活動の魅力を伝えるために、活動報告冊子「令和4年度1年間のあゆみ」を発刊し広くPRを行った。
(6)各ゾーンの特徴を活かした管理運営が図られている。	S	S	4/1～7 さくらまつり、7/15～8/31 ひまわりまつり、10/1～31 コスモスまつり、1/2～1/31 チューリップまつりを開催し、1年を通じて各ゾーンの特性を活かした運営を行った。 子ども美術館では、デンマーク大使、ミュージアムオーデンセ総館長等を招待し、第14回きりがみコンクール表彰式を開催した。また、展示室では、歴代の受賞作品等の展示を行った。 メルヘンの丘イベント広場では、来園者にデンマークの文化を知っていただくことと冬季の利用促進を目的にクリスマスマーケットを開催した。
小項目 2.利用者の声の反映			
(1)指定管理者による利用者アンケートを実施し、利用者サービスの向上のために活用している。	S	S	利用者アンケートを年2回実施している。入園ゲート及び子ども美術館での利用者の声、ホームページからの意見・要望を受けられる体制をつくっており、利用者サービスの向上に努めている。また、利用者の声ひとつひとつに真摯に対応し、対応結果について定期的に報告を受けている。
(2)利用者の平等利用の確保に反しない管理運営を行っている。	S	A	特定の公園利用者や団体を優遇することがないよう管理規則等を遵守し、公園の平等利用に努めている。

評価項目	指定管理者による 自己評価	施設所管課による 評価	施設所管課による評価の理由
(3)利用者からの要望・苦情等に対し、迅速・丁寧・誠意のある行動で対応している。	S	S	要望・苦情はできる限り迅速に対応し、利用者に理解してもらえるよう努めている。施設の瑕疵による事故は無いが、園内で発生した怪我等については、誠意をもって対応している。 利用者からの要望をもとに、男性でも利用できるように授乳室の改修を行った。
(4)利用者からの要望・苦情等は、全職員が把握できる体制である。	S	S	要望・苦情については、担当部署での情報共有後、全職員においても情報共有し、満足度の向上につながる取り組みを行っている。
小項目 3.職員の接遇向上			
(1)利用者によって、サービスが変わることがなく、常に利用者が安心感を持ちながら施設利用を行っている。	S	A	特定の公園利用者や団体を優遇することがないよう管理規則等を遵守し、公園の平等利用に努めている。
(2)職員は常に利用者から判別できる位置に身分を証明する名札等を身に付けている。	A	A	名札着用により、業務に支障をきたす者を除き、職員、臨時職員、アルバイト、委託業者も含め、全員が名札を着用している。
(3)職員の服装は、利用者に対し、不快感を与えるものではない。	A	A	それぞれの業務内容により、服装は異なるが、概ね統一した制服を着用し、不快感を与えないようにしている。
(4)職員は電話対応の際、施設名称及び職員名を名乗っている。	A	A	電話対応の際、「ふなばしアンデルセン公園〇〇です」と自分の名前を名乗っている。
(5)利用者等への接遇向上に必要な従事者教育が行われている。	A	A	外部講師を招いて「接遇研修」を実施した。
(6)管理運営に必要な資格の取得や研修等が行われている。	S	S	風車守、樹木医、造園施工管理技士1級等、必要である資格については、資格所持者を配置している。 適切な樹木管理を行えるよう、樹木医補（職員）及び協会職員による剪定講習会等、樹上作業講習会を実施した。

評価項目	指定管理者による 自己評価	施設所管課による 評価	施設所管課による評価の理由
(7)運営に必要な企画力の向上を目的とした研修等が行われている。	S	S	子ども美術館運営審議会を開催し、外部有識者の意見を取り入れ各アトリエ運営内容の資質向上を図っている。
(8)怪我等の応急処置等に対応できる研修等を行っている。	S	S	看護師が常駐している。また、職員・臨時職員については、「救命法講習会」を受講している。本年度の「救急法講習会」は、令和6年2月15日に実施している。
(9)サービス基準の確保のため、接遇対応マニュアル等が作成され、活用されている。	S	S	公園業務接遇マニュアル、災害対応マニュアルをはじめ、各施設の取り扱いマニュアル等を整備し、職員全員が閲覧できる状態にしている。